



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月15日

上場会社名 株式会社ツナググループ・ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 6551 URL https://tghd.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米田 光宏
問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略本部本部長 (氏名) 沼畑 正輝 (TEL) 03-3569-2790
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	7,860	6.4	406	59.0	404	57.6	332	95.5
2023年9月期第2四半期	7,388	21.9	255	61.6	256	66.5	169	35.1

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 329百万円(103.9%) 2023年9月期第2四半期 161百万円(31.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	38.67	38.22
2023年9月期第2四半期	19.89	19.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	5,033	1,896	35.7
2023年9月期	4,554	1,633	33.6

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 1,796百万円 2023年9月期 1,530百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	16,550	10.1	662	49.3	662	47.9	460	247.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	8,622,422株	2023年9月期	8,599,922株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	14,902株	2023年9月期	14,291株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	8,592,829株	2023年9月期2Q	8,545,410株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来予測情報の適切な利用に関する説明）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手している情報に基づき当社が判断した予想であり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
(収益認識関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、多くの産業で事業活動が正常化しており、就業率が改善するとともに個人消費は堅調に推移しています。また、為替影響によって海外からの旅行客は増加傾向であり、飲食・小売業を中心に賑わいを見せています。その一方で、新型コロナウイルス感染症からの急速な回復は一段落し緩やかな経済成長となることが予想されます。

国内の雇用情勢につきましては、物価上昇に加え労働力不足を背景に賃上げの圧力が高まり、一部の業界では就業率の改善が見られ、2024年3月の有効求人倍率は前年同月比から0.04ポイント下回りましたが、1.28倍（季節調整値）と高い状態が続いております。新規求人倍率（季節調整値）も2.38倍と高く、この傾向は今後も続くことが考えられます。

このような環境のもと、当社グループは労働需給GAP解消に向けて採用支援ニーズに応え、当第2四半期連結累計期間において売上高は前年同期比で増収となりました。

費用面においては第1四半期同様、業績拡大を受けてオフィス移転に向けた資産の除却を開始し一部のコストが増加する一方で、前期から取り組んでいるコスト構造改革の効果が継続しており、業務生産性を向上させた結果、営業利益は前年同期比で大幅な増益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高7,860百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益406百万円（前年同期比59.0%増）、経常利益404百万円（前年同期比57.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益332百万円（前年同期比95.5%増）となりました。

また、当第2四半期連結会計期間においては、売上高3,984百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益281百万円（前年同期比32.6%増）、経常利益281百万円（前年同期比31.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益254百万円（前年同期比86.6%増）となりました。

当社グループの各セグメント別の当第2四半期連結累計期間における業績は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(ヒューマンキャピタル事業)

RPO（採用代行・コンサルティング）サービス領域では、各企業が抱える人材の課題に対して、採用要件や条件の設定から定着・活躍に向けた総合的な提案・支援及び採用実務の代行まで行っております。特に雇用数が多い飲食・小売といったサービス業の大手を中心に、求人メディアの差配や応募の受付対応、面接の代行を行いながら、人材関連のテクノロジー活用や外国籍の労働者採用支援を行っております。この領域では売上高が前年同期比で3.9%増加となりました。

DXリクルーティング領域ではビッグデータとアドテクノロジー（広告配信技術）を駆使したダイレクトリクルーティングサービス『Findin（ファインドイン）』を中心に、採用代行受託顧客への拡販が進み、売上高が前年同期比で11.4%増加いたしました。

セグメントメディア領域では、第1四半期に引き続き選択と集中により、地域密着型の『ユメックス』を中心としたメディア事業から、RPO（採用代行）事業に注力することを意思決定した結果、レギュラーメディアの売上高が前年同期比で10.5%減少いたしました。

これらの結果、ヒューマンキャピタル事業における売上高は6,209百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は539百万円（前年同期比64.7%増）となりました。

(スタッフینگ事業)

スタッフینگ事業におきましては、人材派遣及び日々紹介を行う派遣・紹介領域、派遣スタッフの研修店舗を兼ねたコンビニ店舗を運営するコンビニ領域があります。

派遣・紹介領域につきましては、引き続き倉庫・物流系企業への派遣に注力し、着実に売上の基盤を固め前年同期比で41.6%増加となりました。一方で、今後加速する物流業界での人手不足に備え、派遣社員の採用を強化した結果、赤字幅が拡大しました。

コンビニ領域は、経済活動の正常化に加え物価上昇等の影響もあり売上増加につながりました。また、各店舗で独自の購買データをもとにディスプレイを改善させた結果、売上高が前年同期比で4.5%増加いたしました。

これらの結果、スタッフینگ事業における売上高は1,845百万円（前年同期比12.4%増）、営業損失は65百万円（前年同期は57百万円の損失）となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社子会社への経営管理及び管理業務の受託を行っております。

これらの結果、その他事業における売上高は483百万円（前年同期比15.7%減）、営業損失は68百万円（前年同期は14百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ479百万円増加し、5,033百万円となりました。これは主に売掛金が214百万円、現金及び預金が155百万円及び未収入金が37百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ216百万円増加し、3,137百万円となりました。これは主に短期借入金が300百万円増加したことや、長期借入金が146百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ262百万円増加し、1,896百万円となりました。これは主に利益剰余金が263百万円増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ155百万円増加し、968百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は277百万円（前年同期は340百万円の増加）となりました。これは主に売上債権の増加額214百万円、法人税等の支払額114百万円があった一方で、税金等調整前四半期純利益394百万円、減価償却費170百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は193百万円（前年同期は60百万円の減少）となりました。これは主に敷金の差入による支出179百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は72百万円（前年同期は553百万円の減少）となりました。これは主に短期借入金の純増額300百万円、長期借入金の返済による支出162百万円、配当金の支払額68百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、2023年11月14日に公表いたしました通期の業績見通しに変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	812,743	968,715
売掛金	1,473,638	1,687,937
商品	57,599	62,971
未収入金	321,011	358,903
その他	214,363	178,804
貸倒引当金	△3,988	△10,181
流動資産合計	2,875,367	3,247,150
固定資産		
有形固定資産	191,433	120,679
無形固定資産		
のれん	195,655	181,162
顧客関連資産	713,878	660,998
その他	258,834	210,233
無形固定資産合計	1,168,368	1,052,395
投資その他の資産		
その他	319,886	614,057
貸倒引当金	△350	△350
投資その他の資産合計	319,536	613,707
固定資産合計	1,679,338	1,786,782
資産合計	4,554,706	5,033,933

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	454,497	506,518
短期借入金	150,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	230,591	215,052
未払法人税等	106,345	115,097
賞与引当金	138,574	126,579
未払金	657,752	777,260
その他	471,962	348,496
流動負債合計	2,209,724	2,539,004
固定負債		
長期借入金	395,029	248,440
その他	316,688	350,239
固定負債合計	711,717	598,679
負債合計	2,921,442	3,137,683
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,576	701,836
資本剰余金	608,695	609,955
利益剰余金	221,066	484,646
自己株式	-	△92
株主資本合計	1,530,339	1,796,347
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△45	164
その他の包括利益累計額合計	△45	164
非支配株主持分	102,969	99,737
純資産合計	1,633,263	1,896,249
負債純資産合計	4,554,706	5,033,933

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	7,388,531	7,860,345
売上原価	4,056,413	4,346,995
売上総利益	3,332,118	3,513,350
販売費及び一般管理費	3,076,634	3,107,135
営業利益	255,483	406,214
営業外収益		
受取利息及び配当金	30	2
受取手数料	2,260	2,994
違約金収入	600	-
その他	3,213	375
営業外収益合計	6,104	3,373
営業外費用		
支払利息	4,021	2,775
支払手数料	602	1,614
株式報酬費用消滅損	-	249
その他	94	32
営業外費用合計	4,718	4,672
経常利益	256,869	404,914
特別利益		
固定資産売却益	15	160
事業譲渡益	-	1,353
特別利益合計	15	1,513
特別損失		
固定資産除却損	-	11,490
特別損失合計	-	11,490
税金等調整前四半期純利益	256,884	394,937
法人税、住民税及び事業税	120,258	101,924
法人税等調整額	△24,791	△36,020
法人税等合計	95,466	65,904
四半期純利益	161,417	329,033
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,576	△3,231
親会社株主に帰属する四半期純利益	169,994	332,265

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	161,417	329,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27	210
その他の包括利益合計	27	210
四半期包括利益	161,445	329,243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	170,021	332,475
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,576	△3,231

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	256,884	394,937
減価償却費	119,204	170,123
のれん償却額	37,371	14,493
賞与引当金の増減額(△は減少)	81,320	△11,994
受取利息及び受取配当金	△30	△2
支払利息	4,021	2,775
固定資産売却損益(△は益)	△15	△160
固定資産除却損	-	11,490
事業譲渡損益(△は益)	-	△1,353
売上債権の増減額(△は増加)	△360,286	△214,299
棚卸資産の増減額(△は増加)	15,374	△3,352
仕入債務の増減額(△は減少)	104,978	52,021
未払金の増減額(△は減少)	58,035	106,234
その他	196,117	△164,308
小計	512,977	356,604
利息及び配当金の受取額	30	2
利息の支払額	△4,021	△2,775
法人税等の支払額	△168,839	△114,225
法人税等の還付額	625	38,021
営業活動によるキャッシュ・フロー	340,773	277,628
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,801	△5,140
有形固定資産の売却による収入	182	160
無形固定資産の取得による支出	△35,091	△2,611
敷金の差入による支出	-	△179,614
敷金の回収による収入	4,425	-
事業譲渡による収入	-	3,000
その他	△12,635	△9,636
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,919	△193,842
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△8,944	300,000
長期借入金の返済による支出	△502,095	△162,129
新株予約権の行使による株式の発行による収入	3,225	2,520
自己株式の取得による支出	△4,138	△92
配当金の支払額	△41,498	△68,110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△553,452	72,187
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△273,598	155,972
現金及び現金同等物の期首残高	1,250,978	812,743
現金及び現金同等物の四半期末残高	977,379	968,715

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ヒューマン キャピタル事業	スタッフイング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,776,974	1,609,812	7,386,786	1,744	7,388,531
セグメント間の内部 売上高又は振替高	141,249	31,587	172,836	572,467	745,304
計	5,918,223	1,641,399	7,559,623	574,212	8,133,835
セグメント利益又は損失(△)	327,735	△57,236	270,498	△14,966	255,531

(注) 「その他」の区分は、本社部門所管のその他の収益を獲得する事業活動であります。グループ運営事業、管理業務受託事業等が含まれます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	270,498
「その他」の区分の損失(△)	△14,966
セグメント間取引消去	△48
四半期連結損益計算書の営業利益	255,483

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ヒューマン キャピタル事業	スタッフイング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,040,670	1,818,577	7,859,247	1,098	7,860,345
セグメント間の内部 売上高又は振替高	168,551	26,469	195,020	482,859	677,879
計	6,209,221	1,845,046	8,054,267	483,957	8,538,225
セグメント利益又は損失(△)	539,901	△65,313	474,587	△68,407	406,179

(注) 「その他」の区分は、本社部門所管のその他の収益を獲得する事業活動であります。グループ運営事業、管理業務受託事業等が含まれます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	474,587
「その他」の区分の損失(△)	△68,407
セグメント間取引消去	34
四半期連結損益計算書の営業利益	406,214

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、経営管理体制の見直しを行い、従来「スタッフイング事業」に含まれていたロジHR株式会社を「ヒューマンキャピタル事業」に変更しております。

また、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法の見直しを行い、従来「スタッフイング事業」に含まれていた一部事業を「ヒューマンキャピタル事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(収益認識関係)

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ヒューマン キャピタル事業	スタッフィング 事業	計		
RPOサービス領域	2,602,798	—	2,602,798	—	2,602,798
DXリクルーティング領域	1,191,014	—	1,191,014	—	1,191,014
セグメントメディア領域	1,598,589	—	1,598,589	—	1,598,589
業務代行領域	351,745	—	351,745	—	351,745
派遣・紹介領域	—	367,874	367,874	—	367,874
コンビニ領域	—	1,241,937	1,241,937	—	1,241,937
その他	32,825	—	32,825	1,744	34,570
顧客との契約から生じる収益	5,776,974	1,609,812	7,386,786	1,744	7,388,531
外部顧客への売上高	5,776,974	1,609,812	7,386,786	1,744	7,388,531

(注) 「その他」の区分は、本社部門所管のその他の収益を獲得する事業活動であります。グループ運営事業、管理業務受託事業等が含まれます。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ヒューマン キャピタル事業	スタッフィング 事業	計		
RPOサービス領域	2,705,580	—	2,705,580	—	2,705,580
DXリクルーティング領域	1,327,312	—	1,327,312	—	1,327,312
セグメントメディア領域	1,431,323	—	1,431,323	—	1,431,323
業務代行領域	446,275	—	446,275	—	446,275
派遣・紹介領域	—	520,988	520,988	—	520,988
コンビニ領域	—	1,297,589	1,297,589	—	1,297,589
その他	130,177	—	130,177	1,098	131,275
顧客との契約から生じる収益	6,040,670	1,818,577	7,859,247	1,098	7,860,345
外部顧客への売上高	6,040,670	1,818,577	7,859,247	1,098	7,860,345

(注) 「その他」の区分は、本社部門所管のその他の収益を獲得する事業活動であります。グループ運営事業、管理業務受託事業等が含まれます。

(表示方法の変更)

前連結会計年度より、顧客との契約から生じる収益を分解した情報をより適切に反映させるため、社内で収益を把握している「RPOサービス領域」「DXリクルーティング領域」「セグメントメディア領域」「業務代行領域」「派遣・紹介領域」「コンビニ領域」「その他」の7つの区分に分解するよう変更しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間について注記の組み替えを行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。なお、前第2四半期連結累計期間の顧客との契約から生じる収益を分解した情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。